

は苦しみました。出雲駅伝では東海大学の2年生パワーに屈し2位。全日本大学駅伝では神奈川大学、東海大学に敗れ3位に沈みました。「出雲も全日本も、いい区間もあるが、悪い区間もある凸凹駅伝だった。箱根駅伝は凸凹では絶対に勝てない。オーケストラのような美しいハーモニーを奏でることができなければ勝てない。しかし、1人でも音程を外したら負けてしまう。逆に言えば、調和のとれた駅伝を出来れば絶対に勝てる。」と原監督は敗戦の反省をもとに命名しました。

選手も箱根連覇への自信は揺らぎませんでした。その根拠は、今季、学生主体で整理しなおした過去3年の練習データにあります。重視する夏合宿の練習を予定通りにこなせたかどうかを比較したところ、今季も3連覇中と同じだった。だから、4年生の8区・下田選手は「この4年で箱根優勝は青学大だけ。強みを生かした」と胸を張りました。

総合力が問われる駅伝であります。そこに至るまでの練習量が自信に繋がり、一人一人が力を出し切って初めて結果につながります。まさに今年の青山学院大学がそれを証明したと思います。会社で一矢乱れぬハーモニーを奏でるのは難しいですが、駅伝のように総合力で会社を盛り上げていきましょう。

1月度安全大会

■ 山下健二部長

安全

年末年始の休暇期間は異常もなく、無事に新年を迎えることができました。今日、1年間の安全を祈願しました。皆の努力で、今年一年無災害で終わらせましょう。

◎今月の安全重点目標

【土 木】第三者災害防止、K Y活動の徹底

【建 築】始業前点検の徹底、K Y活動の徹底

年始めの月です。特に安全に対する意識を強く持ち、事故を起こさないように現場安全意識を高める努力をして下さい。年末年始労働災害防止強調期間は15日まで継続中です。新たな気持ちで現場安全管理を徹底して、新しい年をスタートして下さい。



平凡な一日でも「有難い」こと

鎌田善政社長

今年も例年通り安全祈願祭を行いました。今年1年無事故で、皆様と御家族様が良い1年を過ごせるように心よりお祈りしております。日々の生活の中で仕事を終えて帰宅した時に、「今日も無事故で良かった」と感謝している人は案外少ないのかもしれない。毎日が幸せである為には、感謝の気持ちを持たなくてはなりません。平凡な事でも「あたりまえだ」と思うのではなく、「有難い」と思える事が多ければ多いほど良い人生を送れるのではないかと思います。自分自身の事だけでなく、周囲への感謝、世の中の為に何が出来るか、人様の為に何が出来るか、会社の為に何が出来るか、新年にあたり今一度考えて欲しいと思います。

今年も住宅事業で60棟の受注体制作りを目指します。又、机の中や身の回りの整理整頓に始まり、学校や地域社会まで徹底した掃除に対する取組も継続して行ってまいります。自分自身の成長の為に日々心がけると同時に、体調管理に十分気を付け、明るい未来に向けて頑張ってください。



調和は総合力となり

鎌田安典副社長

今年の箱根駅伝は、往路2位の青山学院大学が往路優勝の東洋大学を6区で逆転し、大会新記録で史上6校目の総合4連覇を達成しました。2位の東洋大学に4分53秒差をつける圧倒的な強さでした。原監督が掲げた「ハーモニー大作戦」は大成功に終わりました。

学生駅伝3冠を達成した昨季とは対照的に今季

